

コミュニティ・スクールを導入するとこのようなことができます！

地域ぐるみで地域の未来を担う子どもを育成

ふるさとを愛し、誇りに思い、将来にわたってふるさとに貢献しようとする人材

(将来の) 地域課題解決の担い手、東郷、薩摩川内市活性化の核

東郷はひとつ 地域ぐるみで！

【大切にしなければならないこと】

- 1 学校、家庭、地域で課題を共有するとともに、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという目標・ビジョンを共有するために「熟議（熟慮と議論）」を重ねること。
- 2 共有した目標に向かって、学校、家庭、地域で「協働」して活動すること。



相互の信頼関係が基盤

【地域課題の例】

1 子どもたちにもっと学力をつけたい！

地域ぐるみで学力をつけるにはどうしたらよいのだろうか？（熟議）

- ・ 保護者や地域住民で放課後や夏季休業中の補充指導のお手伝いをしよう！
- ・ 読み聞かせでお手伝いをしてみよう！
- ・ 授業でお手伝いができるかも 等

学校応援団の出番

→ 学校に地域の方々が集い、社会的なつながりが得られる場となる。子どもに教えるために準備（学び直し）をして、新たな生きがいもできて、ますます元気に！

2 地域行事を伝承したい！

地域ぐるみで地域行事を伝承するにはどうしたらよいのだろうか？（熟議）

- ・ 企画段階から中学生に関わらせ、運営も一部任せてみよう！（参加から参画へ）
- ・ 地域住民も加わって企画会議や話し合いを行い、授業として取り組んでみよう！
- ・ 地域行事は小学生の時にくわしく調べさせておこう！

ふる・コミ科の充実

→ 地域課題解決の方法を子どもたちが地域の方々から学び取り、地域課題の解決に向けて積極的に貢献することによって、地域もますます元気に！

【キーワード】 当事者意識（我がこととして）、双方向、運命共同体

コミュニティ・スクールによる地域づくり

人づくりと地域づくりの好循環へ